

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(10)-イ	地域資源を活用した特産品の振興	施策	①個性的で魅力のある特産品開発支援
			施策の小項目名	○魅力ある新たな製品開発の促進に向けた工芸品原材料の安定確保
主な取組	技術講習等の実施		対応する成果指標	工芸品生産額（離島）
施策の方向	・魅力ある特産品開発については、多様化・高度化する市場ニーズを的確に捉えた新たな製品開発の促進支援に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
本県の伝統的工芸品に使用される原材料の持続的供給を可能とするため、原材料の供給事業者の技術向上に資する体制の構築と原料の調達可能性の調査を行う。	県,市町村,工芸産地組合等	原材料の安定確保に向けた品質維持及び効率的な活用に関する技術講習等の実施			
		技術講習会の実施回数(累計)			
		1回	1回(2回)	1回(3回)	
担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課		【 098-866-2337 】	関連URL	—

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	工芸原材料供給強化・調査事業			予算事業名	工芸原材料供給強化・支援事業	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	2,246	5,826	県単等	委託	9,532
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
工芸産業振興施策説明会を宮古・石垣で開催し、工芸産地組合と原材料確保についての意見交換を行った。				産地組合の原材料確保に向けた計画策定支援等を行う。		

活動指標名	技術講習会の実施回数 (累計)		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	1回	2回	2回	1回 (2回)	100.0%	順調	工芸産業振興施策説明会を宮古・石垣で開催し、工芸産地組合と原材料確保についての意見交換を行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

工芸産業振興施策説明会を宮古・石垣で開催し、工芸産地組合と原材料確保についての意見交換を実施し目標値を達成したことから、順調と判断した。意見交換により、次年度の効果的な予算事業の企画につながった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
藍、苧麻について事業者間の意見交換、ネットワーク構築に向けた取り組みを引き続き行う。	令和5年度の工芸産業振興施策説明会を宮古・石垣で開催し、工芸産地組合と原材料確保についての意見交換を実施した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	伝統工芸品に使用される原材料の持続的供給を可能とするため各原材料の枯渇状況に合わせた施策を長期・具体的な取組計画を立て実施する必要がある。	⑧ その他	R5調査にて出土した土の試験研究を行い、化粧土の評価結果を組合へ講習会を行うとともに、産地組合の原材料確保に向け、原材料確保計画を策定する産地組合を支援する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(10)-イ	地域資源を活用した特産品の振興	施策	①個性的で魅力のある特産品開発支援
			施策の小項目名	〇工芸産業の担い手確保
主な取組	担い手の育成		対応する成果指標	工芸品生産額(離島)
施策の方向	・工芸品原材料の安定確保に取り組むとともに、工芸産業の担い手確保については、技術研修を通して、高度な技術の継承と新たなニーズに対応できる人材の育成を推進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
工芸の担い手を確保するため、各産地組合が実施する後継者育成事業等へ補助を行う。	国,県,市町村,工芸産地組合等	担い手の育成に関する研修等の実施		
		後継者育成事業等実施組合数(累計)		
		2組合	2組合(4組合)	2組合(6組合)
担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課	【 098-866-2337 】	関連URL	—

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名		工芸人材育成事業		予算事業名		工芸人材育成事業
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		当初予算額
		県単等	補助	1,239	1,946	
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
後継者育成事業等を実施する各産地組合への補助をした。				後継者育成事業等を実施する各産地組合への補助をする。		

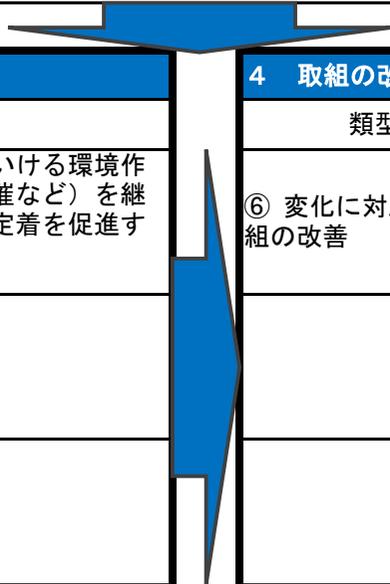
活動指標名	後継者育成事業等実施組合数 (累計)		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	2組合	2組合	2組合	2組合 (4組合)	100.0%	順調	県は宮古及び八重山地区の産地組合の申請に基づき、講師謝金に1/4、教材等諸費に1/3の補助金を交付した。産地組合において後継者育成研修を実施し、令和5年度は宮古地区1名、八重山地区3名を育成した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>令和5年度は宮古地区から1名、八重山地区から3名の修了生を輩出したことから順調であると判断した。今回の事業で各産地の後継者が輩出され、若手従事者が増えることで産地の生産量の増が見込まれる。これらの人材は、研修終了後は産地組合の共同作業場を拠点として、生産活動に従事し、各々の産地組合と協働で新製品開発や需要開拓などを行い、業界活性化・振興のために活躍している。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
<p>新しい工芸従事者の確保及び定着に向け、後継者育成事業を引き続き支援するとともに、研修終了後も人材が定着できるよう、収益向上を図るため、需要開拓事業等も支援する。</p>	<p>後継者育成事業については引き続き補助を行い、需要開拓事業については申請のあった宮古地区を支援した。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	<p>技術や技法の研修修了後、生産活動を続けていける環境作り(作業場の提供や新商品開発手法の講習会開催など)を継続的に支援することで、自立した産業としての定着を促進する必要がある。</p>

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑥ 変化に対応した取組の改善	<p>新しい工芸従事者の確保及び定着に向け、後継者育成事業を引き続き支援するとともに、研修終了後も人材が定着できるよう、収益向上を図るため、需要開拓事業等も支援する。</p>



様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(10)-イ	地域資源を活用した特産品の振興	施策	②特産品の販路拡大・プロモーション支援
			施策の小項目名	○特産品の販路拡大支援
主な取組	稼ぐ県産品支援事業		対応する成果指標	離島フェア売上総額
施策の方向	・ 戦略的なプロモーション展開、地域ブランド形成の促進、商談会の開催等による国内外の消費者や観光客に選ばれる特産品の販路拡大支援に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県産品の商品力を高め県外への販路拡大を図るため、プロモーションや稼ぐ力向上に向けた専門アドバイザーによる指導、助言等県産品の販路拡大に向けた総合的な支援を行う。	県	県産品の国内市場における需要開拓に向け、戦略的なマーケティング支援やプロモーション展開、補助金支援等の実施		
		申請時に掲げた目標売上を達成した補助事業者の割合		
		2/3	2/3	2/3
担当部課【連絡先】	商工労働部グローバルマーケット戦略課 【 098-866-2340 】		関連URL	-

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名		稼ぐ県産品支援事業		予算事業名		稼ぐ県産品支援事業
主な財源	実施方法	R4年度	R5年度	R6年度		
		決算額	決算見込額	主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 (ソフト)	委託	45,048	64,734	一括交付金 (ソフト)	委託	55,519
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
プロモーションを6回、セミナーを5回開催した。また、マーケティング支援を12件、補助支援を24件実施した。				プロモーションを5回、セミナーを3回開催する。また、マーケティング支援を10件、補助支援を15件実施する。		

活動指標名	申請時に掲げた目標売上を達成した補助事業者の割合		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	-	1/2	7/15	2/3	74.6%	やや遅れ	補助事業者に対するセミナー等支援を行い、申請時に売上額を目標とした補助事業者15者のうち、7者が目標を達成した。 県外商談会での商談が成約まで時間を要している等により、目標を下回った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

プロモーションやマーケティング支援など計画通り実施し、事業者の県外市場での販路拡大に向けた支援を行ったが、商品特性等の訴求が不十分等により事業期間内での成約に結び付けられず、目標を下回った。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
○ 一部のセミナーを公開型とし、補助事業者以外にも参加可能にする。	原価計算や品質管理、ECに関するセミナーを補助事業者以外にも公開し、事業者の県外販路拡大等に必要となる知識やノウハウの浸透を図った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	県内事業者の商品開発や商談会出展等の活動をより効果的に促進するため、事業者の取組に応じた支援が必要である。	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	商品開発・改善等の作り手向けと、商談会出展等の伝え手向けといった取組に応じたセミナーを実施する。